

大宮神社社報

社報第36号
大宮神社
旭区大宮
三の(一)の三七

令和四年 秋季大祭



十月二十二日 土曜日 十一時 献湯神事
 二十三日 日曜日 十一時 秋季大祭
 神楽奉納(拝殿・ご昇殿) 午後三時〜九時
 秋祭は十月の第四日曜日とその前日土曜日の二日間です

神楽奉納・地車宮入・夜店など行います

コロナ禍により秋祭の神賑行事は二年間中止になりましたが、本年は夏祭に続き神楽奉納、夜店の出店を行います。二十二日の献湯神事は氏子様の無病息

災を祈る神事でご自由にご参拝していただけます。神楽奉納は拝殿で巫女舞を間近に受けられます。二十三日は十六時頃に大宮南地車が宮入、十七時半頃には生江、中宮、内代の地車三基が一斉に宮入りする予定です。三年ぶりの勇壮な宮入ですので、大いに盛り上がりましょう。



大宮南地車の宮入の様子

稲荷社の改修竣工

稲荷社は平成三十年の大阪北部地震や台風により、損傷が激しくなっていました。六月より改修工事を行い、内部壁や屋根の雨漏りなど修理しました。夏祭前に竣工し、七月二十日にご遷座しました。夏祭では多くの氏子様にお詣りいただきました。



秋祭神饌料を承ります

奉賛者には秋祭当日に拝殿・ご昇殿にて神楽奉納、撤下品を授与します。奉賛者のお名前を境内の掲示板に掲示します。受付は神社事務所にて承ります。

七五三詣りのご案内



三十二年四月吉日

七五三は子どもの無事の成長を祝って、氏神様にお詣りして神恩感謝する伝統行事です。男女三歳、男児は五歳、女児は七歳でお詣りします。昔の子どもの儀式が元で、三歳男女児が髪を伸ばし始める髪置の儀、五歳男児が初めて袴を着ける袴着の儀、七歳女児が帯を着け始める帯解の儀に由来します。当社では十一月中の

祈祷案内

初宮 七五三詣
 家内安全 厄除
 病氣平癒 自動車祓
 改築・転宅清祓
 地鎮祭など出張祭典
 【予約はお電話で】
 (06)
 6951・2196

令和元年の秋祭の様子。

【上】本祭地車三基宮入。手前は生江地車
 【中】中宮地車
 【下】内代地車

